

# 第4回岐阜脳科学研究会

～新しい遺伝子改変手法・動物を用いた  
病態解明及び治療法の開発～

日時 2007年12月1日(土) 13:00～17:30  
場所 グランヴェール岐山 <http://www.grandvert.com/pc.html>  
岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地 TEL:058-263-7111  
参加費 一般 2,000円(学生無料)  
主催 岐阜脳科学研究会  
協賛 アピ株式会社  
後援 (財)岐阜観光コンベンション協会

## プログラム

- 13:00～13:10 開会の辞  
永井 博式  
(岐阜薬科大学)
- 13:10～13:40 HB-EGFノックアウトマウスの統合失調症様行動変化  
大八木 篤  
(岐阜薬科大学薬効解析学)
- 13:40～14:10 ALS及びハンチントン病マウスにおける小胞体ストレスの関与  
嶋澤 雅光  
(岐阜薬科大学生体機能分子学)
- 14:10～14:50 長寿遺伝子SIRT1の脳における役割—トランスジェニックマウスを用いた解析  
伊藤 雅史  
(岐阜県国際バイオ研究所長寿・老化研究部)
- 14:50～15:30 精神疾患マウスのスパイン形態とシグナル伝達異常  
福永 浩司  
(東北大学大学院薬学研究科薬理学分野)
- 15:30～16:00 休 憩
- 16:00～16:40 マウス個体における包括的遺伝子機能: Sleeping Beauty トランスポゾンと  
両アレル変異導入システムの融合  
竹田 潤二  
(大阪大学先端科学イノベーションセンターバイオ・生命系分野)
- 16:40～17:20 TRECK-トランスジェニックマウスを用いた移植再生医療への応用  
河野 憲二  
(奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科動物細胞工学講座)
- 17:20～17:30 閉会の辞  
岐阜脳科学研究会代表世話人

◎参加を希望される方は岐阜脳科学研究会事務局までご連絡下さい。

岐阜脳科学研究会事務局(岐阜薬科大学 薬効解析学研究室 岩田由子)

〒502-8585 岐阜市三田洞東5-6-1

TEL・FAX:058-237-8596 E-mail: seitai@gifu-pu.ac.jp